地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	佐賀県	事業実施主体	佐賀県、唐津市	地域再生計画名	イカ漁をイカした地域まちづくり計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	佐賀県地域交流部 港湾課長、唐津市農林水産部 水産課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	年度	基準年度	指標総数		達成数			
	指標1	呼子町における交流人口の増加	965千人	R元	1,000千人	R4	573千人	1,031千人	R6	×	3	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の影響により交流人口が落ち込んでいる。引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指す。
	指標2	小川島漁港におけるイカの水揚げの増加	46t	R元	46t	R4	48t (R3)	46t	R6	○	3	1	全国各地でイカの漁獲量が減少する中、中間評価時点では目標を上回った。引き続き、漁業関連の支援事業を実施し、最終目標の達成を目指す。
	指標3	離島における交流人口の増加	61,842人	R元	61,842人	R4	55,129人	61,842人	R6	×			新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の影響により交流人口が落ち込んでいる。引き続き計画に則した整備を図り、目標達成を目指す。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度 (R4)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（呼子港） 緑地 係留施設 付帯施設（防風柵）		10,000m2 2基 308m	0m2 0基 0m	10,000m2 2基 308m	港湾事業のうち緑地については、埋立工は順調に進捗したものの、護岸工は施工方法を見直したことにより進捗状況に遅れが見られる。また、係留施設については規模や規格を見直したことから、事業期間の延長と事業費の増が見込まれている。全体としては77%の進捗に留まった。							
	漁港施設（小川島漁港） 係留施設 水域施設 付帯施設（照明、防風柵）		20m 2,000m2 25基、30m	0m 0m2 0基、0m	20m 2,000m2 25基、30m	漁港事業（小川島漁港）は地元調整に不測の時間を要したため、着手できなかった。							
その他の事業	先方地区水産振興事業		呼子町における特産の活きイカ、活魚及び水産加工品等を地元や国内に出荷するための施設等を整備する事業。			令和7年度着手を予定していたが、既存施設の活用で充足しているため、事業化を見送ることとした。							
	呼子道路整備事業		日本三大朝市で有名な朝市通りと先方地区を結ぶ市道にて、段差解消や町並みに合わせた平板舗装を実施。			地元住民や観光で訪れる歩行者の安全を確保するため、段差解消の舗装修繕など行い、観光振興を図るもの。引き続き事業を継続する。							
	呼子町イカまつり		イカをはじめとする新鮮な水産物のPRを目的に行うイベント。			本事業で整備する緑地に隣接した埋立地にて、地元で獲れた新鮮な水産物の販売とバーベキュー、子供による魚のつかみ取り等を催し、地産地消、魚食普及並びに観光客数の増加を図っている。令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の影響により、中止となった。							
	水光呼子港まつり花火大会		港町呼子の観光PRを目的に行うイベント。			呼子港内に位置する呼子漁港を打ち上げ会場として、漁族供養、夜市、花火大会などを催し、地元呼子町をPRするとともに観光客数の増加を図っている。令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の影響により、中止となった。							
	呼子大綱引き		町内の人々が、岡組・浜組に分かれ、大綱を使って豊漁と豊作を懸けて繰り広げる伝統の綱引き。			豊臣秀吉が将兵の士気を鼓舞するため、軍船の鞆綱を引かせたことに由来する催しで、国の重要無形民俗文化財に指定されている。観光客も引き手として飛び込み参加可能となっており、交流人口の増加を図っている。令和2年度から令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等の影響により、中止となった。							
計画外で独自に実施した事業	小冊子等の制作		島の魅力を発信する小冊子及びショートムービーを通じ、島民と島外の交流機会を創出。			小川島、馬渡島を含む唐津の七つの島の「ヒト」「コト」「モノ」をダイアリー調で紹介し、離島の素晴らしさを伝える「七つの島ダイアリー」を作成した。							
③評価方法	数値目標（指標）の達成状況により評価するほか、関係者に対して計画の達成状況に関するヒアリングを行った。												
④中間評価の公表方法	佐賀県港湾課及び唐津市のホームページに掲載予定。												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に行うことにより、地域産業の強化を図るとともに、離島航路利用者の利便性・安全性の確保や緑地整備によるにぎわい空間の創出を図ることで、交流人口を増加させることを目的としている。中間評価時点で、指標1の呼子町における交流人口増と指標3の離島における交流人口増については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により目標を下回った。5類移行後の観光需要の回復を当地域に引き込むためにも、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												

	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
⑥今後の方針等	<p>地域再生計画の見直し (☒ 有 ・ ☐ 無)</p> <p>令和6年度予算要望額への反映 (☒ 有 ・ ☐ 無)</p> <p>有りの場合の増減額 千円</p>	<p>計画上の港湾・漁港整備を行うことで、地域産業の強化やにぎわい空間の創出を図り、目標達成を目指していくが、事業進捗状況が遅れている。このため、中間評価の結果を踏まえ、計画を一部変更するとともに、事業期間を2年延伸する。</p> <p>港湾事業は計画期間内の完了が困難なことから、地域再生計画の変更認定申請を行い、計画期間の2年間の延長を行う。</p> <p>漁港事業は、既定計画の小川島漁港事業が計画期間内の完了が困難なことから、地域再生計画の変更認定申請を行い、計画期間の2年間の延長を行う。また、小川島と馬渡島の離島航路は呼子港に発着しており、同時期に整備を行うことにより離島航路利用者の利便性・安全性の確保を図り、離島航路の交流人口の増加に寄与するため、令和6年度から着手可能な馬渡島漁港事業を追加する。</p>
⑦今後の方針等に対する対応		<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間の2年間延長を申請し、事業進捗を図る。 ●呼子港の事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 認定時 1,490,000千円→見直し後 1,930,000千円 [440,000千円 (うち交付金 176,000千円) 増] ●馬渡島漁港追加に伴う整備事業量、事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業量 認定時 0式→見直し後 1式 [1式増] ・総事業費 認定時 0千円→見直し後 180,000千円 [180,000千円増 (うち交付金 133,600千円) 増]